※令和４年度以降入学生用

学校番号	103

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	詳説　日本史（山川出版社）						
副教材等	詳説 日本史ノート（山川出版社） 日本史一問一答［完全版］3nd edition（東進ブックス）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

過去の歴史の積み重ねで現在がある。何か一つでも欠けていたら歴史は変わっており、現在の日本は存在していない。しかし、全ての出来事は偶然ではなく必ず理由がある。その理由を日本史の授業の中で学び、未来への出来事の予測を立てて行動できる人になろう。

2　学習の到達目標

・歴史的課題を正確に捉え、解決しようとすることができる。
・日本の歴史を世界との結びつき、とりわけ東アジアとの結びつきを理解できるようになる。
・グローバル社会の現在では自国の歴史を正しく認識し、他国の歴史・文化を尊重して共存できるようになる意識をもてるようになること。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	古代・中世・近世・近代・現代の時代変化についての諸資料(史料も含む)を正しく活用し、自分にとっての有用な情報を選択し、資料を読み解けるようになること。	歴史的事象や変化から現在世界で起こっている諸問題をしっかりと考察し、自分の考えをまとめ、意見を具体的に表現できるようになる。	古代・中世・近世・近代・現代の時代変化に関心を持ち、歴史という科目に興味をもって、歴史的課題に対して課題発見能力と問題解決能力に磨きをかけ、意欲的に取り組み、世界の中の日本という認識を持てるようになる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第Ⅰ部　原始・古代	第１章 日本文化のあけぼの	a：日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、水稲耕作の開始・金属器の伝来が弥生文化の社会に与えた影響を理解している。 b：考古資料をもとに、旧石器文化・縄文文化の社会について考察し、表現している。文献資料にもとづき、国内外の情勢を踏まえて多角的に考察した結果を、根拠を示して表現している。 c：日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化や縄文文化、弥生文化の特色を明らかにしようとしている。	定期考査 確認テスト ノート	定期考査 (資料読解･論述問題) ノート ワークシート	ワークシート ノート
		第2章 古墳とヤマト政権	a：国家の形成と古墳文化について、特色を理解している。また、飛鳥文化の特色について、中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して理解している。 b：中国の歴史書の記事、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現している。 c：中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成について考察することを通じ、古墳文化、推古朝の政治や文化の展開とのつながりを見出そうとしている。	定期考査 確認テスト ノート	定期考査 (資料読解･論述問題) ノート ワークシート	ワークシート ノート
		第3章 律令国家の形成	a：隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程や整備の過程などを理解している。また律令体制の形成と密接に関連する仏教文化の特色を理解している。 b：天智朝・天武朝・持統朝の政治動向に着目して、律令体制整備の過程について考察し、表現している。また中央における藤原北家の台頭、地方における土地支配体制の動揺について考察し、根拠を示して表現している。 c：中国王朝との関係と政治への影響などに着目して、律令体制の成立過程とのつながりや展開に関する課題を明らかにしようとしている。また政治や社会の動きとのつながりを見出そうとしている。	定期考査 確認テスト ノート	定期考査 (資料読解･論述問題) ノート ワークシート	ワークシート ノート

※令和４年度以降入学生用

		第4章 貴族政治の展開	a：藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。また、地方の諸勢力の成長と影響などに着目して、律令制度の実態や地方における開発、治安の維持、荘園の発達などについて、その特色や変容を理解している。 b：奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特色について考察し、根拠を示して表現している。文献資料を活用して、国司の支配の変容と公領の変質、荘園の発達を踏まえて地方支配の状況を考察し、根拠を示して表現している c：東アジア情勢の変化が日本社会に与えた影響を考察することを通じて、摂関政治期の社会の特色を明らかにしようとしている。また地方の豪族や武力をもった勢力の動向が政治・社会に与えた影響を明らかにしようとしている。	定期考査 確認テスト ノート	定期考査 （資料読解・論述問題） ノート ワークシート	ワークシート ノート
	第Ⅱ部　中世	第5章 院政と武士の躍進	a：貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、武士の政治進出など古代から中世の国家・社会の変容を理解している。 b：武士が台頭する契機や、この時期の土地制度や武家政権の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。 c：中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて時代を通観する問いを表現し、古代との比較などを通して、中世の特色を探究しようとしている。	定期考査 確認テスト ノート	定期考査 （資料読解・論述問題） ノート ワークシート	ワークシート ノート
		第6章 武家政権の成立	a：諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解している。また、宋・元などユーラシアとの交流に着目して、モンゴル襲来の国際的な背景や国内政治への影響について理解している。 b：幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現している。また、宋・元との交流の窓口や貿易の担い手などを視野に入れて、ユーラシアとの交流を多面的・多角的に考察し、表現している。 c：鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究し、前の時代とのつながりを見出そうとしている。また公武関係の変化による武家政権の展開に着目し、鎌倉時代を通じた武家の支配の特質について主体的に追究しようとしている。	定期考査 確認テスト ノート	定期考査 （資料読解・論述問題） ノート ワークシート	ワークシート ノート

※令和４年度以降入学生用

２学期	第Ⅱ部 中世	第7章 武家社会の成長	a：鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、周辺地域との関係ついて、諸資料から情報を収集して理解している。また、守護大名と戦国大名の権力の相違点などについて諸資料から情報を読み取り、戦国時代の大名による領国経営の特徴を理解している b：南北朝の動乱などにみられる地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や室町時代の文化の特徴と戦国大名による富国強兵策に当時の政治や経済の動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：室町時代に成立した村の自治的な運営が現代社会における自治とどのように異なるかなど、自身との関わりにおいて課題を主体的に追究しようとしている。また、15 世紀から 16 世紀にかけて争乱が多発した理由など、戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 確認テスト ノート	定期考査（資料読解･論述問題） ノート ワークシート	ワークシート ノート
	第Ⅲ部 近世	第8章 近世の幕開け	a：村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。 b：織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響、また豊臣政権による朝鮮出兵やヨーロッパ勢力との接触による南蛮文化の形成についてについて多面的・多角的に考察し、表現している。 c：時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、また桃山文化の特色について中世文化の特色との比較を通じて、時代を通観する問いを表現しようとしている。	定期考査 確認テスト ノート	定期考査（資料読解･論述問題） ノート ワークシート	ワークシート ノート
		第9章 幕藩体制の成立と展開	a：織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して、諸資料をもとに江戸幕府の法や制度の確立や対外政策の推移や江戸時代の社会の構造などについて理解している。また諸資料から情報を適切に読み取り、文治政治への転換や産業の発達、交通の整備や貨幣・金融制度の確立による商品経済・流通の発達、技術の向上と開発の推移・進展について理解している。 b：織豊政権と幕府の支配の構造の相違点や、江戸幕府による貿易統制の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。また戦乱のない時代が創出されたことの意義を踏まえ、人々の生活や意識がどのように変化したのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：幕藩体制が確立する過程における様々な画期について考察し、主体的に追究しようとしている。また幕藩体制が安定していく中で、江戸幕府の諸政策がもたらした人々の暮らしへの影響について、主体的に追究しようとしている。	定期考査 確認テスト ノート	定期考査（資料読解･論述問題） ノート ワークシート	ワークシート ノート

※令和４年度以降入学生用

		第10章 幕藩体制の動揺	a：幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしの頻発などに関する諸資料から情報を読み取り、享保の改革や田沼時代の諸政策の意義について理解している。また列強の接近にともなう事件や幕政改革に関する諸資料から情報を読み取り、幕府権力が衰退する一方で 19 世紀初期の経済の動向や江戸を中心とする庶民文化の形成される過程や、雄藩が出現する過程を理解している。 b：商品作物の栽培や貨幣経済の浸透により、米作を基盤とする幕藩体制が動揺する過程を踏まえ、飢饉や一揆の発生が幕藩体制に与えた影響を考察し、表現している。また、幕藩体制の動揺と文化の展開との関連性について、諸資料から読み取れる情報をもとに多面的・多角的に考察し、表現している。 c：幕藩体制下の社会・経済の仕組みの変化や、幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。また、幕府の飢饉や一揆への対応、外交政策の転換などについて、幕府や諸藩の課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	定期考査 確認テスト ノート	定期考査（資料読解・論述問題） ノート ワークシート	ワークシート ノート
	第Ⅳ部 近代・現代	第11章 近世から近代へ	a：欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯、幕藩体制の崩壊と新政権の成立について理解している。 b：日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済など日本がどのような契機によって近代的な社会の形成に向かっていくことになるのか、近代の特色を探究するための時代を多面的・多角的に考察し、通観する問いを表現している。 c：日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。	定期考査 確認テスト ノート	定期考査（資料読解・論述問題） ノート ワークシート	ワークシート ノート

※令和４年度以降入学生用

3学期	第Ⅳ部 近代・現代	第12章 近代国家の成立	a：明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮などを諸資料から情報を読み取って理解している。また地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。 b：諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを、国内体制を欧米の水準に合わせることが改革の前提にあったことを踏まえ、多面的・多角的に考察し、表現している。 c：明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	定期考査 確認テスト ノート	定期考査（資料読解・論述問題） ノート ワークシート	ワークシート ノート
		第13章 近代国家の展開	a：この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。また大戦後の国際的な協調体制における日本の立場や対外政策の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 b：議会が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて、また、大戦中・大戦後の日本の動向を踏まえ、中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 c：対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究しようとしている。また、対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに当時の日本外交に与えた影響やその課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 確認テスト ノート	定期考査（資料読解・論述問題） ノート ワークシート	ワークシート ノート

※令和４年度以降入学生用

		第14章 近代の 産業と生活	a：産業の発達の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。また、欧米文化との関わりとその浸透度、教育の普及・拡充について社会風潮との関連を理解している。諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。 b：地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや労働問題や公害問題の発生について、地域社会の変容、国民意識との関係から近代文化の形成を踏まえて考察し、表現している。多面的・多角的に考察し、表現している。 c：産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追究しようとしている。また明治期の文化に関わる政府と国民の動向を考察することを通じて、明治文化の特色を主体的に追究しようとしている。	定期考査 確認テスト ノート	定期考査 （資料読解・論述問題） ノート ワークシート	ワークシート ノート
		第15章 恐慌と 第二次 世界大戦	a：国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連続した恐慌と政府の対応などに関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。また、政治・経済体制の変化に着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。 b：ワシントン体制下の協調外交が、中国における民族運動の進展や日本の経済の動向によって次第に緊張が高まったことについて、当時の社会が抱えた矛盾などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。 c：当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 確認テスト ノート	定期考査 （資料読解・論述問題） ノート ワークシート	ワークシート ノート

※令和４年度以降入学生用

		第16章 占領下の日本	a: 第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について、またその後の占領政策の転換による日本の政治や経済の変化に関わる日本の主権回復の意義について理解している。 b: 戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、そして占領の前後の社会や思想・文化などを多面的・多角的に比較・考察し、表現している。 c: 現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革の特色やその目的を考察することを通じて、政策が生み出した成果と課題について、主体的に追究しようとしている。	定期考査 確認テスト ノート	定期考査 (資料読解･論述問題) ノート ワークシート	ワークシート ノート
		第17章 高度成長の時代	a: 保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して、外交・政治・経済を踏まえて理解している。 b: 日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟、新安保条約・ＬＴ貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題などの外交事案がもたらした課題を日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたり、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 55 年体制の歴史的意義や、1960 年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を見出そうとしている。	定期考査 確認テスト ノート	定期考査 (資料読解･論述問題) ノート ワークシート	ワークシート ノート
		第18章 激動する世界と日本	a: ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。また、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 b: 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。また国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c: 第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 確認テスト ノート	定期考査 (資料読解･論述問題) ノート ワークシート	ワークシート ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度